インナーチャイルドセラピスト養成コース 授業風景

インナーチャイルドセラピスト養成コース。2014年9月開講。第三期生募集中。全20回（3時間／回）の1年コース（20万円）。日本ホメオパシー財団認定の資格がとれます。お問合せは東京本校（03-5779-8005）まで（札幌、名古屋、大阪、福岡校でも受講可。eラーニングコースも予定）。

インナーチャイルド癒しの実践DVD

読者プレゼント!!「インナーチャイルド癒しの実践 DVD」（簡易パッケージ版）とりこ先生のインチャ癒しの講演 DVD。ペジイで見たと以下のアドレスまでお送りください。もれなくプレゼント！
info@homoeopathy-books.co.jp

インナーチャイルドの本

とりこ先生のインチャ三部作。『インナーチャイルドが叫んでる！』『インナーチャイルドが待っている！』『インナーチャイルドが願ってる！』（ホメオパシー出版）

Q インチャの大元はなんでしょうか？

A インチャの大元はほとんどが親の価値観で否定されることで形成されます。自分は愛される価値がないと思って悲しんでいる自分です。その悲しみを見ないようにすることで、やがて怒りや罪悪感、恨みなどの感情になってしまうのです。怒っている人も罪悪感になっている人も恨んでいる人も、その奥には愛を求めて泣いているインチャがいるのです。

Q 「どんな感情もありがたい！」の真意を教えてください。

A 咳・下痢・熱・発疹などの身体症状は、病原体に感染していることを教えてくれるものであり、異物が体の中に侵入してこないように防ぐ役目と体の外に排出する役目をもつありがたいものです。全く同じように感情は価値観に感染していることを教えてくれるものであり、価値観が心の中に侵入してこないように防ぐ役目と心の外に排出する役目をもつありがたいものなのです。体の症状を抑圧することで体の病気になってしまうように、心の症状（＝感情）を抑圧することで心の病気になってしまいます。どんな感情もありがたいものであり、抑圧するのではなく、感情の生じる原因を自分に問いかけ、どこまでも自分の正直な思いに寄り添い、常識や価値観で判断せず、受け止めていくことが大事なのです。

そうすると複雑に見えることでも最終的には、「だめでもそのままの自分を愛してほしかった」という願いに行き着くので、だから今のあなたがその願いを聞き入れ、無条件の愛を与えてあげることでインチャを癒すことができるのです。もし自分でできなければインナーチャイルドセラピストやホメオパスに相談してください。なお、ホメオパシーのレメディーは抑圧した感情を浮上させ、感情を解放する働きがあります。ホメオパシーはインチャ癒しにおいて強力なツールとなります。

こうしてインチャを癒すことで自分を責めることが減り、人も責めることが減り、心が落ち着き自分らしく生きられるようになります。幸せのカギはインチャ癒しにあるのです。

さんにはわがままはよくないといつも叱られていたから」というかもしれません。そうした一本当はどうしてほしかったの？自分はどうしたかったの？」と問いかけます。「私もわがまま言いたかった。もっと私にも目をかけてほしかった」と言うかもしれません。それがその子の本心でその思いや悲しみを十分表現しなかった怒りになってしまったのです。悲しんでいるその子に寄り添って、「弟のように目をかけてほしかったね」と言ってあげるのです。そして今の自分がインチャのお母さんとなって、否定され傷ついた悲しみのインチャを愛してあげるのです。

結局、わがままな人というのは、わがままな弟の投影であり、わがままな弟はわがままな自分の投影であり、弟を責めるようにわがままな自分を責めていたのです。親にわがまな自分を否定され悲しみ、わがままな自分を自分で否定してしまったのです。しかしわがままを言いたい自分、親に否定され悲しんでいる自分はいるのです。その悲しみに寄り添い共感し、十分に悲しみを表現させてやり、正直な気持ちを聞き、受け入れてあげるのです。どの子も親に愛してほしくてたまらないのにそれがわがままを言いたい子どもなんてどこにもいません。それはわがままではなく正直な思いなのです。その部分を聞いてあげるのです。